

理事長 告辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご家族の皆様には、心よりお祝い申し上げます。またお忙しい中ご臨席を賜りましたご来賓の方々、本日は誠にありがとうございます。

私は昨年10月に理事長としてこの長野県立大学に赴任いたしました。ですから、私もいわば「新入生」同然です。皆さんと同じようにわくわくした気持ちで本日の入学式を迎えました。これから皆さんとともに学べることを大変楽しみにしています。

現在、我が国には800近い大学があると言われていています。その中から皆さんはこの「長野県立大学」を選択されました。私が申し上げるのも何ですが、皆さんは大変良い選択をされたと思います。金田一学長から只今ご説明がありましたように、1-2年次には本学ならではの特色あるプログラムが目白押しです。加えて、各学科には質の高い専門授業も控えています。また、長野という文化的かつ自然豊かな地域環境、美しいキャンパス、そして清潔かつ開放的なこの学び舎も大変素晴らしいと思います。

開学8年目となる本年度は学部252名、大学院16名、計268名の新入生を迎えました。大都市のマンモス大学に比べ学生数が少ないように感じられるかもしれませんが、そのおかげで少人数のクラスやゼミが可能となります。また逆に、より多くの仲間と深く知り合うチャンスも増えます。教職員との人間的なふれあいも生まれます。実際、学長や理事長との距離も近いと思います。世の中にこういう大学は決して多くありません。この「家族的な雰囲気」は単に物理的な環境だけからもたらされるものではありません。やはり開学時から培われてきた長野県立大学のよき文化・伝統を感じます。IT技術の発達で遠隔授業などが可能になった今だからこそ、人間的な出会いとふれあいの場を大切に守っていきたく思います。

大学院に入学される皆さんにも一言申し上げます。忙しい時間を割いて研究に挑む皆さんに私は敬意を表します。実践的な課題を専門的、学術的に研究することは非常に価値ある経験です。仲間や先生と交わす議論から課題解決の糸口を見つけ、さらには新しい自分を発見されることを願ってやみません。

学長も強調されておりましたように長野県立大学は独特の使命をもった大学です。そこには「リーダー輩出」「地域イノベーション」「グローバル発信」という3つのキーワードが掲げられています。これを耳にしますと、多くの方は「そんな大それたこと」と思われるかもしれませんが心配ありません。実際、長野県立大学のユニークな教育プログラムはこれら使命に合うように設計されていますので、皆さんは先生方のガイドに従いつつ、着実に一歩ずつ進んでいけばよいのです。そうは言っても、授業をただ聞いているだけではや

はり成長にも限界があります。そこで、これからの4年間に向けて私から3つのアドバイスを送りたいと思います。

まず一つ目です。どんな小さな場面、機会でも構いません。大学時代に一度でよいのでリーダー的な役割を経験して欲しいと思います。小さなチームのリーダーでも構いません。リーダーとしての経験はこれからの人生に大きな学びを与えてくれます。将来いかなる仕事についても「人を動かす力」は成功の鍵となります。大学には高校時代にも増して様々なグループワークや集団的な活動機会があります。そのような機会にどうか勇気を出してリーダーシップの発揮に挑戦してみてください。

二つ目には、地域につながる実践的な学習機会にぜひチャレンジしてほしいと思います。他大学においては難しい地域連携、長野県立大学の最大の個性がここにあります。本学にはソーシャル・イノベーション創出センター、通称CSIという組織があって、地域に開かれた活動を皆さんに提供してくれます。長野県の地域社会も若い皆さんの声や力を求めており、喜んで協力してくれます。こんな貴重な実践的な学習の場はまたとありません。地域を知り、学外の多様な人々と交流する楽しさをぜひ味わってください。

三つ目には、グローバル・コミュニケーションの基本として英語力を強化してほしいと思います。英語が好きな人はますます強く、高校まであまりチャンスがなかった人はこの機会に一気に強化しましょう。語学の習得は頭の柔らかい若いうちが絶対的に有利です。仮に今、私が皆さんと一緒に新しい外国語を学び始めたら、私は逆立ちしても皆さんに合わないのです。語学関連アプリが発達し、世界中の動画も手軽に見られる今、外国語学習の壁は圧倒的に低くなりました。これこそ「いつやるか、今でしょ！」という話です。海外の人々との直接対話の機会も活用して、大学時代にグローバルの扉を開く力をぜひ獲得してください。

これらの挑戦に失敗はありません。「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という有名な言葉があります。大学入学は自分を変える絶好の機会です。どうか恐れずに最初の一步を踏み出してください。自分の未来はいかようにも変えられるのです。

最後になりますが、これから4年間、健康と安全に留意して大学生活を満喫してください。本学には、卒業に際して「本当に楽しかった」「この大学に来て良かった」と言ってくれる卒業生が沢山います。大学関係者としてこれ以上嬉しい言葉はありません。4年後に皆さんも心の底からそう言えるよう悔いの無い4年間を送ってください。本日は誠にありがとうございます。

令和7年4月7日

公立大学法人長野県立大学 理事長 佐藤 慎次郎